課題番号13

新規作物導入による直売活動の充実

～　女性農業者直売グループ活動報告　～

対象：直売グループひなたぼっこマルシェ（8戸）

１　活動の背景

「長沼町・南幌町の女性農業者で構成された女性農業者直売グループ「ひなたぼっこマルシェ」は、現在（Ｒ７時点）会員は８名（長沼：６名、南幌：２名）で構成されている。年間で４～５回、くるるの杜で直売活動を行っている。この直売活動充実のため、Ｒ６年の本州視察で「新顔野菜」として２種類のイタリア野菜（ラディッキオ・カリーノケール）の栽培方法を学び、導入を提案した。
農業者との協議の結果、Ｒ７年は試作を実施することになった。

ラディッキオ

カリーノケール

２　活動の経過

目標事項：新規作物導入農家戸数
（ラディッキオ・カリーノケールどちらも栽培した農家戸数）
現況：０戸→目標：３戸

R7年活動経過

3/28	全体会議①
6/19	巡回
7/4	全体会議②
7/29	巡回
9/16	巡回
12/25	全体会議③
2/10	全体会議④

イタリア野菜調理方法についての勉強会

Ｒ７年試作についての反省会

Ｒ８年栽培計画打合せ

３　成果の具体的内容

新規作物導入農家戸数
（ラディッキオ・カリーノケールどちらも栽培した農家戸数）

現況０戸→　目標３戸　→　実績６戸

試作についての結果

生育後期のカリーノケール（9月撮影）

栽培は比較的簡単で、生育は全体を通して良好だった。虫の被害が多かった。

ヨトウムシの食害

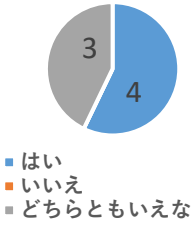
生育後期のラディッキオ（9月撮影）

夏の高温で結球しないものがあったが、育苗・移植後の管理はよくできていた。

夏の高温・干ばつ
↓
抽台・変形

試作についての感想（アンケート調査）

Q.来年もイタリア野菜を栽培してみたいか



高温でラディッキオの栽培が難航したが、「次年度も挑戦したい」という前向きな声も上がった

農家からの声

４　今後の課題と対応

全体会議の打合せで「作型・品種を限定し、規模を縮小して来年も栽培する」ことに決定した。
今後は次年度の作型・品種について、栽培上の課題を整理しながら協議を行い、決定する。